

## お知らせ

令和8年3月2日（月）  
一般社団法人日本蕎麦協会

### 「令和7年度第37回全国そば優良生産表彰」

#### 農林水産大臣賞ほか各賞受賞者の決定について

一般社団法人日本蕎麦協会主催の「令和7年度第37回全国そば優良生産表彰事業」による農林水産大臣賞ほか各賞を、下記のとおり決定いたしました。

なお、表彰式は、下記の通り開催いたします。

#### 記

#### 1 受賞者

別紙のとおり

#### 2 表彰式

令和8年3月25日（水）

15：00～ 如水会館（東京都千代田区）

## (参考) 全国そば優良生産表彰事業の概要

### <目的>

国産そばの生産を奨励し、消費者へ良質なそばを安定的に提供するため、収量性・低コスト・品質向上などの面で模範となる生産農家及び生産集団を表彰し、その成果を広く紹介・普及する(平成元年度から実施)。

### <成果>

これまで、品質・生産性向上に努力した生産農家及び生産集団が受賞し、6次産業化、ブランド化の成功にもつながったほか、地域のそば振興のモデルとなっている。

### <今回の農林水産大臣賞の受賞者の特色>

作付面積・収量が好成績であり、排機械の共同利用などによるコスト低減、排水対策やブロックローテーション、適期収穫、100%種子更新など、他のそば生産者の模範となる技術上の工夫や経営上の特色が評価された。

### <主催> 一般社団法人日本蕎麦協会

### <後援> 農林水産省、一般社団法人全国農業協同組合中央会

### <協賛> 一般社団法人日本麺類業団体連合会、全国蕎麦製粉協同組合、一般社団法人全国農業協同組合中央会、玄蕎麦流通協議会

お問い合わせ先

一般社団法人日本蕎麦協会

メール [info@nihon-soba-kyokai.or.jp](mailto:info@nihon-soba-kyokai.or.jp)

URL <http://www.nihon-soba-kyokai.or.jp>

※お問い合わせはメールにてお願いします。

# 令和7年度第37回全国そば優良生産表彰受賞者一覧

令和8年2月17日 審査委員会決定

表彰の種類	受賞者名	所在地
農林水産大臣賞	農事組合法人東大社	秋田県由利本荘市
農林水産省農産局長賞	ライジングファーム株式会社	茨城県小美玉市
一般社団法人 全国農業協同組合中央会会長賞	加藤 奈三	北海道深川市
	朝倉 勇二	福井県南越前町
一般社団法人 日本麺類業団体連合会会長賞	梶間 郷士	茨城県常陸太田市
全国蕎麦製粉協同組合理事長賞	有限会社アグリメントなか 代表取締役社長 渡部 清吉	山形県飯豊町
	農事組合法人ふる里妙高	新潟県妙高市
玄蕎麦流通協議会会長賞	農事組合法人かたせ	福井県勝山市

## 農林水産大臣賞

氏名・集団名	農事組合法人東大社 <sup>とうだいしゃ</sup> <span style="float: right;">構成農家戸数＝7戸</span>
所在地	秋田県由利本荘市
立地・生育条件	由利本荘市は秋田県南西部に位置。排水性の悪いほ場が多く、改善が課題。「沢」地名に多用されており、昔から排水性に苦慮している。年平均気温13.3℃、県内では比較的温暖。
年産	令和6年産
品種・単収・品質	階上早生（83kg／10a・1等）
そば作付面積	58.0ha 〈田58.0ha〉
収穫量	48,105kg
労働時間	3.00時間／10a
生産費	15,710円／10a
機械化の現状	バックホー、溝堀機、散布機、トラクター、ブームスプレー、コンバイン、乾燥機、粗選機、選別機、フレコン計量機
作付体系	水稻～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均9,720円／45kg＜対経営全体比：13%＞
出荷状況	㈱そば研（100%）
技術上の工夫	<p>（1）排水対策 水田転作畑での栽培が主であるため、溝堀機を用いた額縁明きょ（50～60cm）を毎年施工し、サブソイラによる心土破碎や弾丸暗きょを施工するなど、排水対策を強化した湿害防止に努めている。</p> <p>（2）ブロックローテーション 4つのブロックに分けて水稻とそばで輪作を実施している。ブロックローテーションにより作業の効率化と労働時間の削減を実現している。</p> <p>（3）雑草対策 播種前には除草剤の散布を徹底し、耕起から播種までの期間を短縮することにより、雑草の発生を最小限に抑制している。</p> <p>（4）適期作業 黒化率80%での刈り取りを実施している。適期刈り取りを実施するため、ほ場巡回による成熟期の確認を行っている。</p> <p>（5）種子更新 品種の特徴を最大限に活かし、安定した収量を確保するための、種子を毎年100%更新している。</p>
経営上の特徴	<p>（1）団地化の推進と機械の共同利用による効率化 地域の農地を守り、維持・継承するために農地の賃貸借を積極的に引き受け、規模拡大を図っている。また、4つのブロックに分けた「団地化」を推進することにより、点在するほ場を集約し、大型機械による一斉作業を可能にしている。</p> <p>（2）地域協議会との連携による技術・経営の高度化 「由利地域そば生産者協議会」に所属し、地域一体となった生産技術の向上に取り組み、収量と品質の安定化を図っている。同協議会等が主催する現地研修会に積極的に参加し、栽培技術や排水対策に加え、品種情報等の技術情報の共有を図っている。</p>
今後の課題	<p>（1）次年以降の作付計画 地域の生産者の高齢化に伴い、今後も作業受託面積の増加が見込まれる。これに対応するため、ブロックローテーションの見直しやほ場の集約化をさらに進め、生産性維持と、着実な作付面積の拡大を図る。</p> <p>（2）生産体制の強化と持続可能性の確保 受託面積の増加に伴う作業負担を軽減するため、直進アシストなどのスマート農業技術の導入や高性能農業機械の導入を検討する。法人経営の事業継承に向け、法人としての雇用環境の整備や栽培技術の継承を計画的に進め、将来にわたって地域農業を支え続ける持続的な経営体制を構築する。</p>

## 農林水産省農産局長賞

氏名・集団名	ライジングファーム株式会社
所在地	茨城県小美玉市
立地・生育条件	小美玉市は茨城県のほぼ中央に位置。ほ場は耕作放棄地を活用している。関東ローム層に覆われ、ほぼ平坦な地形。年平均気温14.1℃、年降水量1,368mm。令和7年茨城県共進会最優秀賞受賞。
年産	令和7年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（85kg/10a・1等）
そば作付面積	19.3ha（畑19.3ha）
収穫量	16,524kg
労働時間	7.00時間/10a
生産費	26,960円/10a
機械化の現状	プラソイラ、マウスプレッダー、プラウ、ローラー、クリーンシダー、セット動噴、キューホー、汎用コンバイン、汎用乾燥機、石抜機、選別機
作付体系	そば単作、ソラマメ～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均26,627円/45kg＜対経営全体比11%＞
出荷状況	県内そば店（55%）、県外そば店（45%）
技術上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨城県の奨励品種「常陸秋そば」を導入し、栽培に取り組んでいる。種子の更新は3年毎に行っている。</li> <li>・毎回作付け前に土壌診断を行い、ほ場毎に肥料散布計画を作成している。</li> <li>・耕作放棄地の利用が多いことから、プラソイラーやプラウを利用して排水・湿害対策を行っている。</li> <li>・近隣の畜産農家、水稻農家から材料を調達し、自家製もみ殻牛糞堆肥を作製し、その堆肥のみで地力増進を図り、有機栽培と同基準で栽培している。</li> <li>・台風の倒伏対策として、中耕培土のタイミングを研究し、倒伏防止に努め、収量の安定化につなげている。</li> <li>・そばの成分分析を行い、タンパク質や風味、旨味を高める栽培をしている。</li> </ul>
経営上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そばほ場の8割は、耕作放棄地であったところを農地に再生し、栽培に取り組み、地域農地の荒廃防止や地域活性化に取り組んでいる。</li> <li>・そばの前作として、一部にソラマメを導入し、輪作により畑の収益率を高めている。</li> <li>・いばらきみどり認定を受け、環境負荷低減に向けた栽培に取り組んでいる。</li> <li>・そば専用機械メーカーと連携し、全国のそば店向け販売ネットワークを設立し、そばの販売強化に努めている（県内外40店舗に販売）。また、小美玉市ふるさと納税返礼品に選定され、常陸秋そばの知名度を高めている。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場ごとの土づくり計画を作成し、土づくりの徹底を図りながら、圃場収量のばらつき解消を目指し反収を高める。</li> <li>・省力機械（高速ロータリー、汎用コンバイン）を導入し、作業効率高めて生産コストを抑える。</li> <li>・新たにそば製品の輸出やそば生麺事業に取り組み、そば販売の収益率を高める。</li> <li>・そばほ場の土地利用率の向上と所得アップに向け、輪作作物としてソラマメに加えてネギの導入を図る。</li> </ul>

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	かとう なみ 加藤 奈三
所在地	北海道深川市
立地・生育条件	深川市石狩川と雨竜川が貫流する石狩平野の北端に位置し、ほ場は中山間地域である音江町に存在。排水性に優れた土壌でそばの栽培に適している。年平均気温6.8℃、年降水量平均1,044mm。
年産	令和7年産
品種・単収・品質	キタワセソバ (136kg/10a・1等)
そば作付面積	1.7ha 〈田1.7ha〉
収穫量	2,261kg
労働時間	2.60時間/10a
生産費	42,281円/10a
機械化の現状	プラウ、スノーモビル、ドリルシフト、ロータリー、草刈機、汎用コンバイン、遠赤外線乾燥機、籾摺機、粒選別機、比重選別機 他
作付体系	水稻～そば
経営上の割合等	玄そば販売平均11,723円/45kg<対経営全体比：2%>
出荷状況	J Aきたそらち (100%)

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長賞

氏名・集団名	あさくら ゆうじ 朝倉 勇二
所在地	福井県南条郡南越前町
立地・生育条件	南越前町は福井県嶺北地方南部に位置。田倉川に沿って小規模のほ場が広がる。排水性が高いほ場が多いが、中にはやや作土が深いほ場もある。年平均気温13.1℃、年降水量2,608mm。
年産	令和6年産
品種・単収・品質	今庄在来 (79kg/10a・1等)
そば作付面積	3.9ha 〈田3.9ha〉
収穫量	3,102kg
労働時間	1.80時間/10a
生産費	20,960円/10a
機械化の現状	トラクター、サトドリッジヤ、播種機、草刈機、汎用コンバイン、一部J Aに委託
作付体系	水稻～そば、3年に1回そばを作付けするブロックローテーション
経営上の割合等	玄そば販売平均12,000円/45kg<対経営全体比15%>
出荷状況	J A越前たけふ (100%)

一般社団法人日本麺類業団体連合会会長賞

氏名・集団名	かじま 郷土 梶間 郷土
所在地	茨城県常陸太田市
立地・生育条件	常陸太田市は茨城県の北東部に位置。ほ場は傾斜畑で、褐色森林土から黒ボク土の協会で礫混じり。排水性は比較的良い。年平均気温約12℃、年降水量約1,350mm。令和7年茨城県共進会優秀賞受賞。
年産	令和7年産
品種・単収・品質	常陸秋そば（60kg/10a・2等、種子合格）
そば作付面積	8.0ha 〈畑8.0ha〉
収穫量	4,926kg
労働時間	5.83時間/10a
生産費	31,250円/10a
機械化の現状	トラクター、ローラー、播種機、管理機、一部JAに委託
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均16,000円/45kg、種子そば販売平均37,530円/45kg〈対経営全体比88%〉
出荷状況	JA常陸（10%）、県内外そば店（90%）

**全国蕎麦製粉協同組合理事長賞**

氏名・集団名	有限会社アグリメントなか 代表取締役社長 <small>わたなべ</small> 渡部 <small>せいきち</small> 清吉
所在地	山形県西置賜郡飯豊町
立地・生育条件	飯豊町は山形県の南西部に位置。ほ場は「礫質普通褐色土」の土壌で排水性は良好。平坦部の積雪は1m程度で、特別豪雪地帯に指定されている。年平均気温11℃、年降水量平均1,856mm。
年産	令和6年産
品種・単収・品質	山形BW5号 (92kg/10a・1、2等)
そば作付面積	20.5ha 〈田20.5ha〉
収穫量	18,765kg
労働時間	1.79時間/10a
生産費	14,993円/10a
機械化の現状	サブリラ、プロトキヤスター、トラクター、プラウ、ローラー、播種機、ハンマー、汎用コンバイン、遠赤外線乾燥機、選別機
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均14,380/45kg<対経営全体比：9%>
出荷状況	榊宮川製粉 (96%)、町内外そば店 (4%) ※いずれもJAおきたま経由

**全国蕎麦製粉協同組合理事長賞**

氏名・集団名	農事組合法人ふる里妙高 <small>さとみょうこう</small> (代表理事 <small>やました</small> 山下 <small>あきら</small> 昭) 構成農家戸数=3戸
所在地	新潟県妙高市
立地・生育条件	妙高市は新潟県の南西部に位置。ほ場は傾斜地など水稻栽培に適さないほ場を活用。基盤整備は実施しているが、小区画のほ場も多い。平年の10月は平均気温14.5℃、栽培期間中の降水量、日照時間はともに平地より少ない。
年産	令和7年産
品種・単収・品質	けいなん在来 (58kg/10a・1等)
そば作付面積	7.0ha 〈田4.3ha、畑2.7ha〉
収穫量	4,034kg
労働時間	2.80時間/10a
生産費	14,578円/10a
機械化の現状	トラクター、耕耘同時畝立播種機、動力散布機、コンバイン、その他共同利用施設
作付体系	そば単作
経営上の割合等	玄そば販売平均17,100円/45kg<対経営全体比6%>
出荷状況	(有)嶺村製麺所 (100%)

## 玄蕎麦流通協議会会長賞

氏名・集団名	農事組合法人かたせ （代表理事 <sup>まるやま</sup> 丸山 <sup>まこと</sup> 真寿） 構成農家戸数=60戸
所在地	福井県勝山市
立地・生育条件	勝山市は福井県の北東部に位置。ほ場は傾斜地で、土壌は主に粘性土。当該地域は標高154～170mで、概ね基盤整備済。年平均気温13.3℃、年降水量2,281mm。
年産	令和6年産
品種・単収・品質	大野在来（79kg/10a・1等）
そば作付面積	9.9ha 〈田9.9ha〉
収穫量	7,850kg
労働時間	2.25時間/10a
生産費	33,250円/10a
機械化の現状	トラクター、培土機、プロットキャスター、播種機、草刈機、汎用コンバイン、一部JAに委託
作付体系	麦～そば～水稻の2年3作
経営上の割合等	玄そば販売平均7,130円/45kg<対経営全体比7%>
出荷状況	JA福井県（100%）